

共感を広げる

国内活動

国内での活動

国際協力の輪を広げ、
社会に変化を



10月に行われた代表理事交代記念イベントの様子

イベント・講演・開発教育

現地での支援活動と同時に、日本国内で世界各地のことを伝え、関心や共感を得ていくことも、JVCの役割のひとつです。代表理事交代記念イベントや、元NHKアナウンサーのジャーナリスト堀潤さんと協働しての訪朝報告会のほか各事業地のいまを伝えるイベントを43回開催。24のイベントに協力しました。月2回、事務所で実施する団体オリエンテーションには125名の方にご参加いただきました。そのほか、大学等での講演も約90件実施、学校訪問を8校受け入れるなど、対面する機会を通じて多くの方にJVCの活動や世界のことについてお伝えしました。また、事務所がある東京以外でも、山梨、千葉、新潟、大阪などのイベントに参加し、各地で積極的に国際協力を伝えました。

主なメディア掲載・出演

- ◎ 朝日新聞（アフガニスタン事業）
 - ◎ NHK「おはよう日本」（政策提言活動）
 - ◎ 琉球新報（沖縄平和賞受賞）
 - ◎ J-WAVE「JAM THE WORLD」（コリア事業）
 - ◎ 毎日新聞（政策提言活動、モザンビーク）
 - ◎ anan 2142号「LOVE & LIFE特集」（ボランティアの受入活動）
- ほか約110件



TV、新聞、雑誌、ラジオ、WEBなど様々な媒体に露出

JVC国際協力カレンダー

1987年から制作している国際協力カレンダー。毎年、第一線で活躍する写真家の方によりすぐりの写真をご提供いただき制作しています。2019年カレンダーの写真家は、世界各地で人々の暮らしと信仰を撮り続けている野町和嘉氏。タイトルは『この空の下で～Sky doesn't know borders～』。「多様性」をテーマにした、信仰を大切に暮らす世界の人々の写真が評判となり、壁掛け版と卓上版で約1万3千部を販売しました。また、JVCの活動地の子どもたちが描いた絵を活用した「スマイル年賀状」を制作し、約1,000部を販売しました。2020年版は写真家・竹沢うるま氏のご協力を得て「幸せ」をテーマに制作します。

JVC国際協力コンサート

1989年から毎年末に開催した「JVC国際協力コンサート」は、2018年12月の公演で30年の歴史に幕を下ろしました。東京は30周年、大阪は25周年を迎え、たくさんの方々にも惜しまれながらのフィナーレとなりました。最後の公演となる今年も、ヨス・ファン・フェルトホーフェンを指揮に迎えヘンデル『メサイア（東京）』『クリスマス・オラトリオ（大阪）』を演奏。「オランダ音楽界の至宝」とも呼ばれるヨス氏の指揮は、多くの人々を魅了しました。



これまでの30年間で、約1,400社の企業に協賛いただき、参加合唱団員は約9,500名、毎年平均約2,200名の観客の皆様にご支援をいただきながら、2億7千万円以上の収入を国際協力に充てることができました。本当にありがとうございました。

合唱団員からの希望も多かったヨス氏がラストを飾った

ネットワーク 地球規模の課題の解決のために力を合わせる。JVCはNGOの連携を重視しています。

国際協力NGOセンター（JANIC）

ODA改革ネットワーク

カンボジア市民フォーラム

日本・イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）

KOREA子どもキャンペーン

地雷廃絶日本キャンペーン（JCBL）

日本UNHCR-NGOs評議会（J-FUN）

シリア和平ネットワーク

NGO非戦ネット

NGO安全管理イニシアティブ（JaNISS）

NGOアクションネットワーク（NANCIS）

この他にも様々なネットワークに参加しています。